

○ワークショップ「消費者行動」

開催責任者 ビジネス研究科 石垣智徳

湯本祐司

経営学部 南川和充

2017年3月5日

3月6日

南山大学名古屋キャンパス J棟 4階 415 会議室



ワークショップは以下のとおり、開催された。

◇報告者および題目

3月5日(土)

1. 荒木長照 (大阪府立大学知識情報システム学類)
「ご当地キャラクターと地域ブランド」
2. 佐藤栄作 (千葉大学大学院人文社会研究科)
「品揃え操作 (入替・拡縮) の影響を考慮した 購買行動モデルの研究」
3. 中田善啓 (甲南大学名誉教授)
「デジタル市場操作とナッジ」

3月6日（金）

1. 里村卓也（慶應義塾大学商学部）
「行動・心理データの融合による顧客行動分析」
2. 辻本法子（桃山学院大学経営学部）
「ハロウィンにおける消費者行動調査報告」

◇ワークショップの討論内容

本ワークショップでは広く消費者行動に関するモデル分析他に関する研究報告ならびにディスカッションを行った。例えば、荒木氏はご当地キャラクターの地域ブランド確立への関係を分析している。また、辻本氏の報告である「ハロウィンにおける消費者行動」では、近年注目を浴びているハロウィンにおける仮装コスチュームの地域差や傾向を明らかにした。ここでは調査方法について考慮すべき点や分析方法の改良に関する議論があった。

◇研究成果発表

荒木長照、辻本法子、田口順等、朝田康禎、「地域活性化のための観光みやげマーケティング ―熊本のケーススタディー」、『大阪公立大学共同出版会』、2017年1月。